

{2018年7月登録}



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

2

3

ひらど せいち しゅうらく
平戸の聖地と集落
かすがしゅうらく やすまんだけ なかえのしま
(春日集落と安満岳・中江ノ島)

Kasuga Village and Sacred Places in Hirado
(Kasuga Village and Mt. Yasumandake)

ガイドマップ

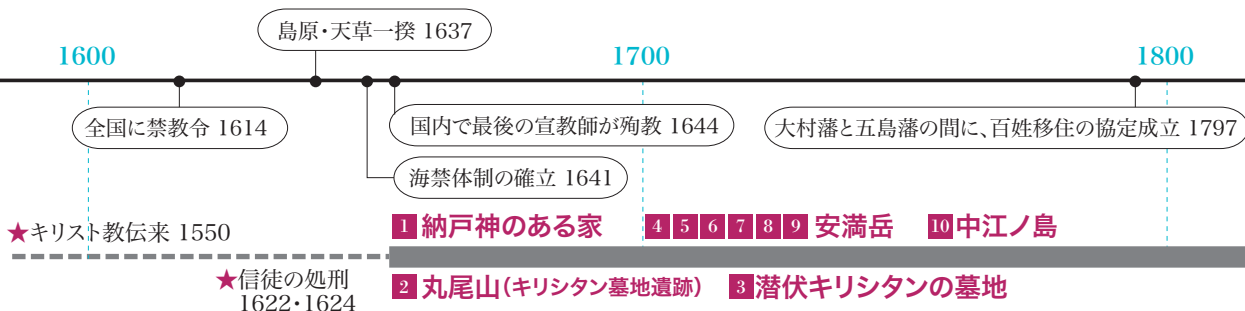


平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳) | の価値

平戸の聖地と集落(中江ノ島) | の価値

I 宣教師不在と キリタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリタンが信仰を 実践するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

◎「平戸の聖地と集落」は、潜伏キリタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す4つの集落のうちの一つです。

◎キリスト教が伝わる以前から信仰された山やキリタンが殉教した島を拝むことによって信仰を実践した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	平戸島の文化的景観
種別	重要文化的景観
指定年	2010年
所在地	平戸市

資産内の 見学マナー

資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ゴミ箱を設置していませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- トイレは所定の場所をお願いします。

Ⅲ 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

Ⅳ 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり

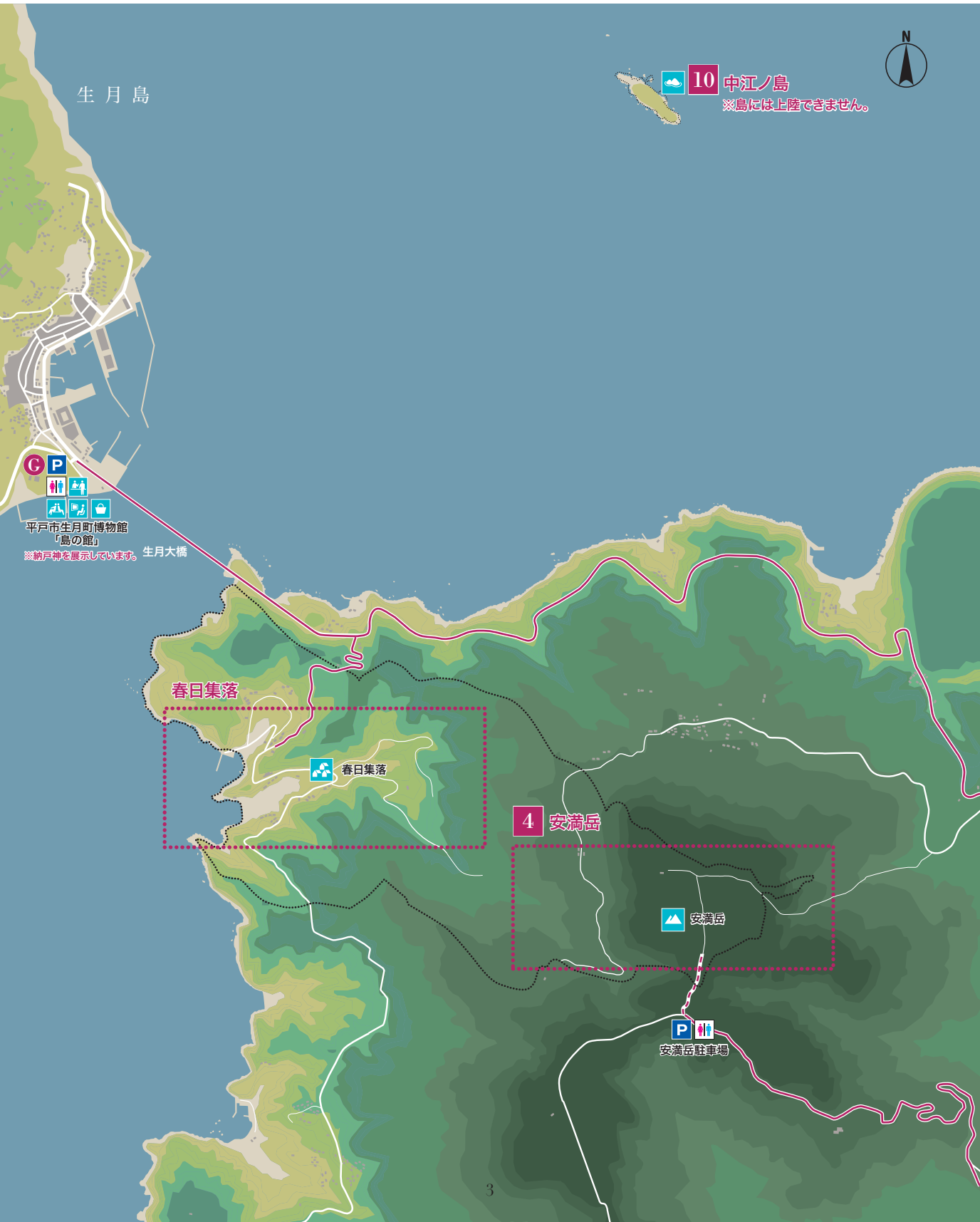


カトリックへ復帰せず、伝統は時代と共に変容

歴史

- ◎平戸島西海岸にある春日集落は、平戸島の領主松浦氏の有力家臣であった籠手田氏の領地でした。平戸には1550年にザビエルによってキリスト教が伝えられ、籠手田氏が改宗したことから春日集落にもキリスト教が広まり、キリシタンの共同体が設立されました。
- ◎集落の中心に位置する丸尾山^{まるおやま}2には、発掘調査でキリシタンの墓が確認されていることから、十字架が設置されていたと考えられます。
- ◎春日集落では、禁教期に入っても指導者を中心に共同体が維持され、ひそかに信仰が続けられました³。
- ◎仏教や神道を受け入れながら、納戸とよばれる部屋にキリシタン信仰の信心具が秘匿され、これらは「納戸神」と呼ばれました¹。
- ◎また、禁教初期にキリシタンが処刑された中江ノ島^{なかつら}10を殉教地として拝み、洗礼などを行う聖水を採取する場としていました。
- ◎さらに、キリシタン信仰に基づく中江ノ島や納戸神に加え、キリスト教が伝わる以前から山岳信仰の場とされてきた安満岳^{こてだ}4も併せて拝みました。
- ◎禁教期から伝わる「神寄せのオラシヨ」の中にも「安満岳様」と唱えられることから、安満岳も潜伏キリシタンにとって重要な存在であったことがわかります。
- ◎このように、禁教期の春日集落の潜伏キリシタンは、山や島を拝むことによって信仰を実践しました。
- ◎春日集落は、「信徒発見」後に宣教師と接触した後もカトリックには復帰せず、その後も禁教期の信仰を実践したが、次第に失われ、現在では、組織的な信仰は消滅しています。

| 平戸の聖地と集落 | の広域マップ



生月島

10 中江ノ島

※島には上陸できません。

平戸市生月町博物館
「島の館」

※納戸神を展示しています。 生月大橋

春日集落

春日集落

4 安満岳

安満岳

安満岳駐車場

| 平戸の聖地と集落 | の拡大マップ

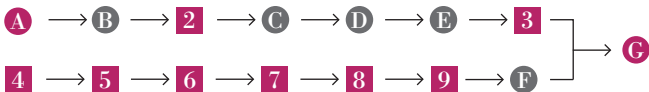
春日集落



4 安満岳



《推奨ルート》



..... 構成資産範囲	● A 情報発信拠点施設	👤 ガイド・案内所	🏠 集落	📍 ビューポイント	🪦 墓地、墓碑
----- 徒歩で移動	● A その他のポイント	🛖 休憩所	🏔 山	🏯 神社	🪦 墓地跡、墓碑跡
———— 徒歩または自動車等で移動	P 駐車場	📄 展示	🏝 島	🗿 寺跡	🪦 碑(モニュメント)等
0 重要ポイント	🚻 トイレ	🛒 ショップ			

| 平戸の聖地と集落 | の重要ポイント案内

1 なんどがみ いえ 納戸神のある家

※納戸神については、春日集落案内所^①と
平戸市生月町博物館「島の館」^②に展示しています。



オデンベンシャ



禁教期の春日集落では、家屋の奥まった納戸という部屋に、納戸神と呼ばれるご神体(キリスト教由来の信心具)をまつっていました。このようなご神体は、16世紀に宣教師を通じて春日集落に伝わり、禁教期には行事の際に祭具として用いられたほか、ひそかな祈りの対象として継承されました。

2 まるおやま ぼちいせき 丸尾山(キリシタン墓地遺跡)



①



16世紀のイエズス会宣教師の報告によると、春日集落には教会堂や十字架があったとされています。集落を見下ろす丸尾山では、発掘調査により、キリシタンの墓地遺構と考えられる複数の穴が確認されています。立地や他地区との比較から、この場所に宣教師の報告に記された十字架があったと考えられています。

3

せんぶく

ぼち どうやまいせき

潜伏キリシタンの墓地(堂山遺跡)



この祠の周辺に墓地が埋まっています。

この場所では発掘調査により、禁教初期頃の潜伏キリシタンの墓地が発見されています。直径20～30cm程度の石を長方形に組み合わせたもので、近隣の集落で発掘されたキリシタン墓地と同じような形態となっています。墓地の奥には、春日集落の人たちによって「稲荷様」と呼ばれる石祠がまつられています。

4

やすまんだけ 安満岳



安満岳には神社や寺跡、多くの石造物があり、古来より神道や仏教の信仰の対象とされていたことがわかります。この地域の潜伏キリシタンは、祈りの場である教会堂がない中、キリシタン信仰に由来する殉教地のほか、古来より信仰してきた安満岳などを併せて崇敬しました。彼らに伝わる「神寄せのオラシヨ」の中でも「安満岳様」と唱えられました。

5

せきちゅう 石柱



この石柱は、江戸時代の絵図にも描かれており、山頂部の自然林への入口を示すものとして古くから存在しています。

6

とりい 鳥居



この鳥居は、安満岳の頂上部に至る石畳の参道入口に建てられたものです。安満岳山頂周辺には、神社、寺跡などがあり、これらは17世紀の絵図にも描かれています。

①

7

やすまんだけ さいぜんじあと
安満岳(西禅寺跡)

①

西禅寺は、白山比賣神社の安満岳への勧請に併せて、8世紀初め頃に山頂に創建された寺院です。明治期に廃寺となりましたが、現在も境内には建物の礎石のほか、池や石造物などの遺構が残されています。16世紀のイエズス会宣教師の報告によると、当時、西禅寺を中心とする山岳仏教勢力が宣教師らと敵対していたとされます。

8

やすまんだけ はくさんひめじんじゃ
安満岳(白山比賣神社)

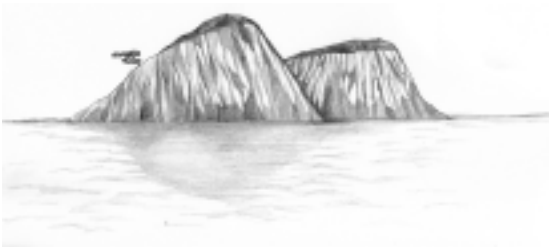
白山比賣神社は、718年に山岳信仰の拠点であった加賀の白山宮から安満岳へ勧請したとされ、白山権現とも呼ばれます。現在の社殿は、近代に建て替えられたものですが、鳥居や礎石は禁教期のまま残されています。春と秋には大祭が行われています。

9

やすまんだけ せきぞうぶつ
安満岳(石造物)

①

安満岳山頂の石造物の中には、春日集落の潜伏キリシタンが「キリシタン祠」と呼んでいた石祠があります。潜伏キリシタンは、キリシタン信仰に併せて、神道や仏教を信仰しており、安満岳はその信仰形態をよく表しているといえます。



*イラストはイメージです。

10 なかえのしま 中江ノ島

※足元が滑りやすく、大変危険なため上陸することはできません。



中江ノ島は、平戸の信者にとって岩からしみ出す水を採取し、聖水とする「お水取り」を行う大切な場所です。中江ノ島で聖水を取ることは、主に生月の信者によって行われましたが、春日集落からも中江ノ島に対する信仰がありました。

たびらてんしゅうどう

田平天主堂

平戸島対岸の田平地区にある教会堂で、鉄川與助てつかわよすけの設計・施工により建設され、1918年に献堂式が行われました。内部は三廊式平面で、身廊、側廊にそれぞれ独立した屋根がかかり、正面中央に八角形のドーム型の屋根を備えた鐘塔を持ちます。天井はリブヴォールト天井。主構造の煉瓦は英国式れんがに積まれており、装飾的な煉瓦壁が意匠の特徴です。

《基本情報》

文化財の名称	田平天主堂
種別	重要文化財
指定年	2003年
所在地	平戸市田平町



Ⓔ

教会堂の見学マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳肅な雰囲気の中で心静かにお過ごしください。

- 室内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 室内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 室内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。 ● 室内の写真撮影は禁止です。
- 教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。
- 教会堂見学に対する感謝の気持ちは、教会堂保存のための寄付として設置してある献金箱をお願いします。



教会堂
見学の
事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205 (出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ©受付時間 | 9:30~17:30

<http://kyoukaigun.jp>

キリシタン遺産 インフォメーション

検索



| 平戸の聖地と集落 | のその他のポイント案内

A 春日集落案内所 ※納戸神(複製品)を展示しています。

かすがしゅうらくきよてんしせつ



空家を改修した案内所で、パンフレットや映像のほか、春日集落で継承されてきた納戸神(レプリカ)の展示などを行っています。春日集落を散策する前にぜひご利用ください。

- 所在地 / 平戸市春日町166-1
- 営業時間 / 8:30~17:30
- 休館日 / 12月31日~1月3日
- 入場料金 / 無料

B 春日集落ビューポイント①

かすがしゅうらく



ここから春日集落が一望できます。

C 春日集落ビューポイント②

かすがしゅうらく



ここから春日集落の棚田が一望できます。

①

D 春日集落ビューポイント③

かすがしゅうらく



ここから安満岳や人形岩が望めます。

さんかいばんれいひ
E 三界万霊碑



春日集落には、潜伏キリシタンがいないことを示す証として、禁教期である1761年に建てられました。平戸市内のほかの潜伏キリシタン集落にも、必ずひとつ建てられています。

かすがしゅうらく
F 春日集落ビューポイント④



Ⓜ

神社の横を通った先から、平戸島西海岸地域を望むことができます。麓に広がる棚田一帯が春日集落であり、生月大橋や生月島のほか、天気が良ければ五島列島を一望できます。

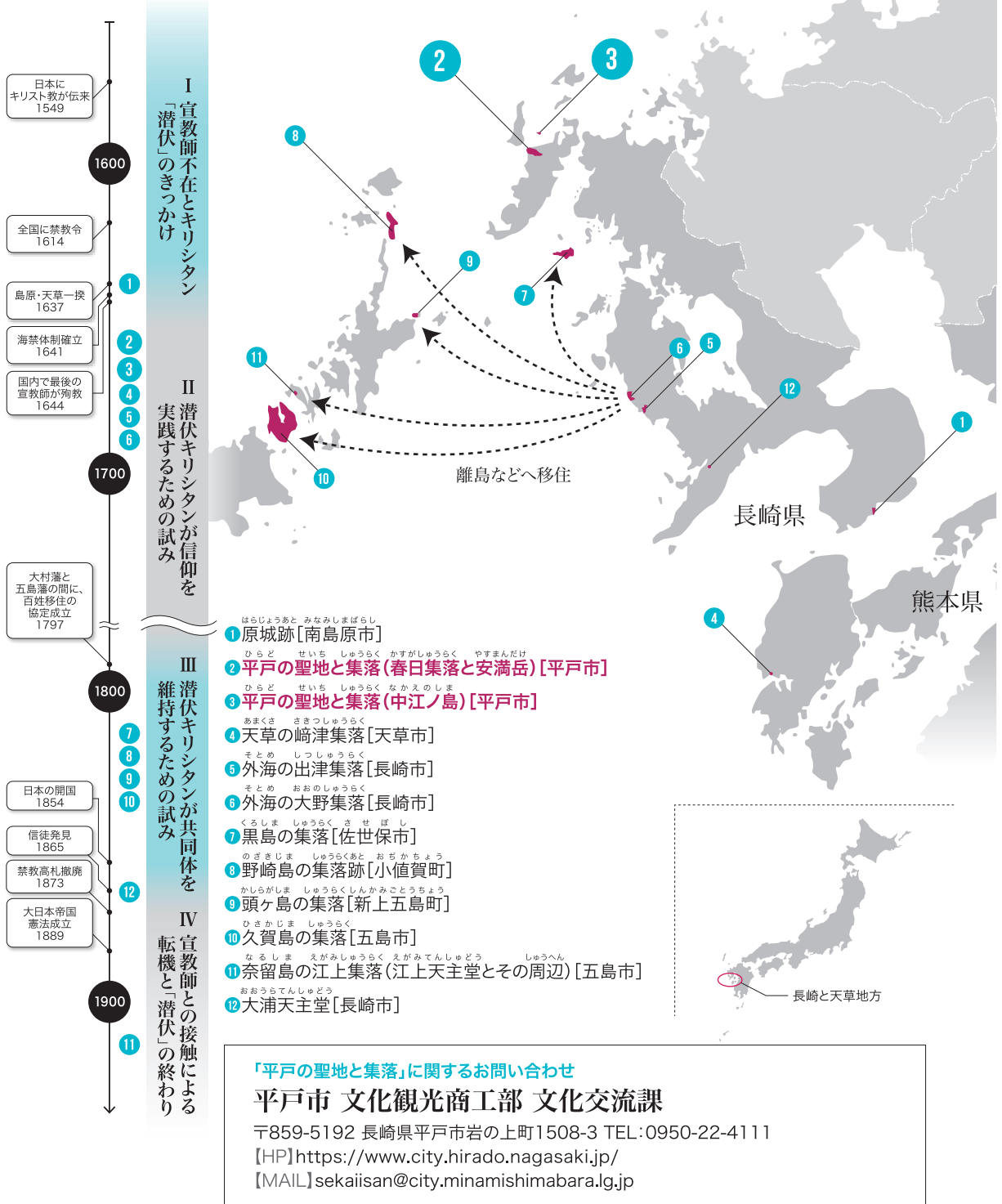
ひらどしいきつきちようはくぶつかん しま やかた
G 平戸市生月町博物館「島の館」

※納戸神を展示しています。



江戸時代に日本最大規模を誇った益富捕鯨の展示をはじめ、かくれキリシタンの信仰、豊かな自然の中で営まれてきた漁業の姿を紹介しています。

- 所在地 / 平戸市生月町南免4289-1 Tel:0950-53-3000
- 営業時間 / 9:00~17:00(最終入場16:30)
- 休館日 / 1月1日、2日
- 入場料金 / 一般510円(460円)、高校生300円(270円)、小・中生200円(180円)
※カック内は15人以上の団体料金
- U R L / <http://www.hira-shin.jp/shimanoyakata/>



企画・発行／長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産 検索 <http://kirishitan.jp>

撮影協力／①池田 勉、②日暮 雄一

2019年6月発行



国際連合教育科学文化機関



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
 世界遺産登録年:2018年